※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　芸術科　［音楽］

教科	音楽	科目	(学)保育音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	全訳バイエル・ピアノ教則本(全音楽譜出版社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、器楽演奏などの課題に対して自ら考えて主体的に取り組むとともに、周りの人と協働で歌唱や合奏などの活動を行います。
・ピアノの基礎的な演奏技術について学び、毎時間の練習を通して演奏技能を習得し、練習成果を互いに発表したり、評価したりする音楽的活動を行います。
・器楽の演奏技能は、授業中の練習だけでは十分に上達するものではありません。放課後の補習に参加したり家庭での練習に取り組んだりしましょう。
・楽器の演奏技能を高めるために音楽の基礎的な知識を身に付けることも大切です。楽譜を読む力を高めることで、発展的な課題にも積極的に取り組みましょう。
・保育音楽Ⅰでは、単にピアノの演奏技能を学ぶだけでなく、器楽合奏、歌唱、手遊び歌やダンス、音楽劇など、幅広い課題に取り組みます。保育の進路実現に向けて、主体的に取り組み、周りの人と協働で考えて活動しましょう。

2　学習の到達目標

音楽の基礎的な理論を理解し、ピアノの演奏技能を習得する。保育や幼児教育における応用力の育成をめざして、音楽的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
⑴音楽の基礎知識を理解し、読譜する技能を身につけ、簡単なピアノ作品を演奏する技能を身につけるようにする。
⑵音符や演奏記号を正しく読譜し、演奏の意図を表現する技能を身につける。ピアノ演奏において、指のタッチによる音色の変化を感じ取りながら、美しい音で表現する力を養う。
⑶音楽のよさを認識し、保育や幼児教育において音楽を活用しようとする態度、お互いの演奏を聴きあってよさを認め合い、自らの演奏において評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・音楽の基礎的な理論を理解している。 ・ピアノの正しい奏法を理解し、簡単な楽曲をピアノの演奏で表現している。	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、イメージを膨らませて表現を工夫している。 ・演奏者の違いによる様々なピアノの音色や音楽表現に耳を傾け、評価しながら鑑賞している。	・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。 ・自らの学習活動について振り返り、成果や改善点について考察し、目標を持って取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ピアノや様々な楽器を演奏しよう	・ピアノ演奏の基礎 ・バイエルの演奏① 7番、8番、10 番、 11 番、12～15 番 ・子供の歌を弾く① 「春が来た」 「春の小川」 「海」 ・器楽合奏① 「大きな栗の木の下で」	a:ピアノや打楽器の基礎的な奏法を理解している。(知識) a:ピアノの基礎的な演奏技能を身につけている。(技能) b:ピアノのより美しいタッチを意識して奏法を工夫しながら楽曲を演奏している。 b:他者との調和を意識し、アンサンブル表現を工夫している。 c:さまざまな曲の演奏を習得しようと主体的に楽器練習に取り組もうとしている。	・確認テスト ・実技テスト ・発表	・確認テスト ・実技テスト ・発表	・授業観察 ・振り返りシート
	子どもの歌を歌おう	・季節の歌① 「春が来た」「春の小川」「こいのぼり」「かたつむり」「海」 ・子どもと歌うさまざまな歌 「はじめの一歩」「Believe」 「世界中のこどもたちが」 「友だちになるために」	a:歌詞と曲想の関りを理解している。(知識) a:楽曲の旋律を正しい音程で歌唱している。(技能) b:曲想をイメージして、表現を工夫して歌唱している。	・実技テスト	・実技テスト	
	楽典①	・五線と音部記号 ・高音部譜表の読譜	a:各音部記号と五線による記譜方法を理解し、読譜することができる。(知識)	・ワークシート ・確認テスト		
二学期	ピアノや様々な楽器を演奏しよう	・バイエルの演奏② 18 番、23 番、29 番、32 番 ・子どもの歌を弾く② 「どんぐりころころ」 ・ピアノ連弾 ①「ちょうちょう」 ②課題より自由選択曲 ・器楽合奏② 「サンタが街にやって来る」	a:ピアノの基礎的な演奏技能を身に着けている。(技能) b:ピアノのより美しいタッチを意識して奏法を工夫しながら楽曲を演奏している。 b:他者との調和を意識し、アンサンブル表現を工夫している。 c:さまざまな曲の演奏を習得しようと主体的に楽器練習に取り組もうとしている。	・実技テスト ・発表	・実技テスト ・発表	・授業観察 ・振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	楽典②	・音符の長さ ・休符の長さ	a:各音部記号と五線による記譜方法を理解し、読譜することができる。(知識)	・ワークシート ・確認テスト		
	保育実習①子どもたちと交流しよう	・ハンドベル合奏 「おもちゃのチャチャチャ」 「ジングルベル」 ・ダンス 「ぼくのミックスジュース」	a:ハンドベルの奏法を理解し、他者との調和を意識して演奏する技能を身につけている。(技能) b:曲想やハンドベルの音色について意識しながら、アンサンブル表現を工夫している。 c:他者との調和を意識し、主体的、協働的にハンドベルで表現する学習活動に取り組もうとしている。 c:子どもたちと積極的にかかわり、ダンスや交流を通して主体的、協働的に実習に取り組もうとしている。」	・実技テスト ・発表	・実技テスト ・発表	・授業観察 ・振り返りシート
三学期	ピアノを演奏しよう	・バイエルの演奏③ 41 番～45 番	a::ピアノの基礎的な演奏技能を身につけている。(技能) b:ピアノのより美しいタッチを意識して奏法を工夫しながら楽曲を演奏している。 c:さまざまな曲の演奏を習得しようと主体的に楽器練習に取り組もうとしている。	・実技テスト	・実技テスト	・授業観察 ・振り返りシート
	保育実習②オペレッタを上演しよう	・オペレッタ「おおきなにんじん」	a:オペレッタの各楽曲を正しい音程で歌唱し、正しい振り付けで踊っている。(技能) b:オペレッタのセリフや楽曲、ダンスを曲想に合わせて創意工夫して音楽やダンスで表現しようとしている。 c: 子どもたちと積極的にかかわり、ダンスや交流を通して主体的、協働的に実習に取り組もうとしている。	・実技テスト	・実技テスト	・授業観察 ・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度